

問 織笠地区集会施設の修繕計画について

答 適切な維持管理に努める



議員 清 きよし
（ 新 生 会 ）
こん 昆

問 地域住民より、猿神農業担い手センターの施設修繕の要望がある。今後の予定があるか伺う。また、織笠地区の他の集会施設も老朽化が進んでいる。修繕の計画があるのか伺う。

佐藤町長 猿神農業担い手センターの修繕予定について、6年度は老朽化している施設看板の塗り直しと床の修繕を進めているところであり、7年度は屋根の修繕を予定している。また、織笠地区集会施設の修繕計画については、現時点ではないが、定期的に施設点検等を行っており、今後も適切な維持管理に努めていく。



修繕が待たれる猿神農業担い手センター

問 水産課の設置について

答 水産庁に職員派遣を要請

問 新たに水産課を設置することであるが、具体的な説明を伺う。

町長 本町の水産業を取り巻く環境が厳しいことを踏まえ、水産の

専門的知見から技術指導を行う職員の派遣を、水産庁に対し要請しているところである。

問 ウニ陸上養殖について

答 漁協への支援を継続する

問 最近ウニの水揚げが低迷しているのは磯焼けが原因の1つである。各地区での対策を見ると宮古漁協では、間引きしたウニの陸上養殖を行っているほか、宮古市は6年度からウニの陸上養殖を始める事業者に対して、水槽1トン当たり上限10万円の補助金を出す対策も始めるなど、てこ入れを図っているとのことであるが、本町としてもウニ陸上養殖

に対して何か支援を考えているのか伺う。
町長 船越湾漁協では、5年度より磯焼け対策のウニ移植試験と合わせ、陸上養殖試験用の器材の準備を進め、本年2月にウニの養殖試験に着手したところである。町では、この取組に対して「浜の活力支援事業」による補助を行っており、今後も漁協の取組への支援を継続していく。